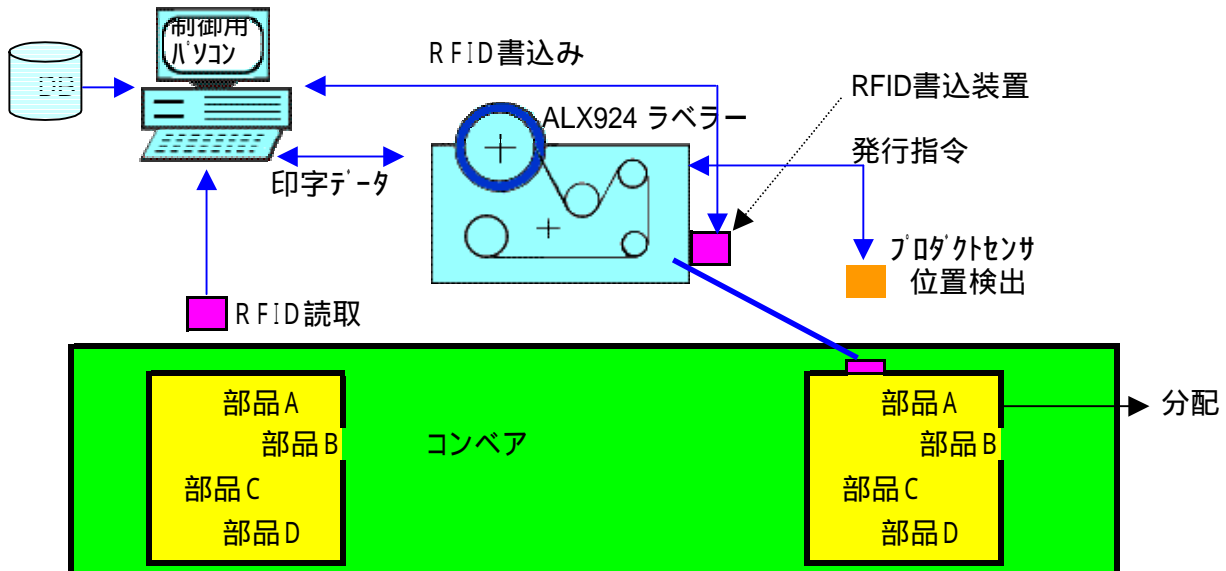


< 事例3 > RFIDを利用した梱包内容識別・分類 ラベリングシステム

< システム構成概要 >

RFIDが貼付された複数部品が入っている梱包物の内容を読み取り、それに応じたラベルを貼り付ける。そのラベルにはバーコードや外箱用のRFIDを添付、発送先分類や不足品検査に応用する。



- ・ 梱包内容の部品A～DにはRFIDが貼付けられています。
- ・ その内容をRFID複数読み取りし、それに対応した外箱用RFIDに出荷先データを書き込みます。
- ・ RFIDの複数読み取りの際、梱包内容の不備(部品欠如等)をチェックできます。
- ・ 出荷先RFIDを貼り付ける(またはバーコード)ことにより、コンベアの先で、分類作業の自動化が行えます。

< RFID読み込み >

RFIDの複数同時読み込み技術は、その数の制限等で過度期の技術です。
(株)ノモス・サイエンスでは開発中の案件です。